

生活科調査資料 作成の観点

書名 項目	○○○○ ○○○○○	発行者番号 発行者名
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○生活上必要な習慣や技能が身に付くように、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○対象を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○対象に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。 </p> <p> <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして、対象に直接働きかけることができるように、どのような工夫が見られるか。 ○気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法（言葉、絵、動作、劇化など）により表現し、考えることができるように、どのような工夫が見られるか。 ○多様な学習活動（見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなど）を行い、気付いたことを基に考えられるよう、どのような工夫が見られるか。 </p>	
資 料	<p>○具体的な活動や体験を促すために、どのような資料が提示されているか。</p> <p>○資料の内容及び取り上げ方は、児童の発達の段階から見て無理がないものとなっているか。</p>	
表記・表現	<p>○児童が親しみ、進んで利用したくなるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>○児童の発達の段階を考慮した表記・表現になっているか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい 生活</p>	<p style="text-align: center;">2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○具体的な学習活動に即し、生活上必要な安全やマナーに関する習慣や技能の習得を図れるように、随所に「やくそく」、「かつどうべんりてちょう」や、「ちゅうい」などのマークが配置されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見付ける」「比べる」「たとえる」など、気付いたことを基に分析的に考えるための多様な学習例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品で示されている。 ○思いや願いを実現していく学習の過程で、児童が思考・判断・表現している姿が、挿絵や吹き出し、表現作品などで示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○思いや願いを実現する活動を繰り返し、自分自身の成長や満足感、成就感などの手応えを感じることで、次の活動や自分の生活に生かそうとしている児童の姿が、写真やイラスト、吹き出し、表現作品などで示されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○単元の扉に、児童の活動場面の写真を掲載し、活動への意欲を引き出すように工夫されている。小単元の初めには、問いかけの形の言葉を示し、対象に直接働きかける活動へと児童を促す構成になるように工夫されている。 ○表現方法として、学習カードを中心に、折り畳み絵本、新聞、ランキングなどの方法が提示されている。学習カードの書き方のページには、注目すべき所や表現のポイントが書いてあり、それを基に表現し、考えることができるように工夫されている。 ○「学びをふかめるコーナー」では、児童が表現・交流活動を行い、気付きを関連付けて、より質の高いものとする姿・過程が例示されている。「主体的・対話的で深い学び」を実現している姿が、登場人物が成長していく挿絵で具体的に示されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QR コードでは、動画、クイズ、図鑑などを見ることができる。 ○上巻末の「いきものずかん」では、季節ごとに実物大の動植物のイラストが掲載され、下巻末の「かつどうべんりてちょう」では学習の仕方が紹介されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○巻頭にはスタートガイドが付いており、他教科へつながる学びが教科のマークで記載されている。 ○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、配色及びデザインについて専門家の検証を受けたりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○活動のめあてとその活動で育成すべき資質・能力を示したマークを組み合わせることで、指導と評価の一体化が図れるように工夫されている。 ○児童キャラクターの姿や様々な表現方法により、具体的な活動イメージがつかめるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>新版 たのしいせいかつ</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大日本</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「がくしゅうどうぐばこ」では、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるようになっており、「やくそく」では、安全に関する約束や、マナーに関する技能の習得ができるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○活動の流れを把握し、自ら思考できるように、見開きページごとに児童自身に考えさせるための投げかけ（課題）が示されている。 ○言語活動（話形やことば）の紹介があり、どの児童でも豊かに表現できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○活動後の振り返りから、児童の思いや願いを基に次の活動へとつながる流れを意識できるように紙面が工夫されていたり、生活科の活動がその後の自分の生活に活かされていく場面が示されたりしている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○活動場面の写真やイラストを大きく掲載し、児童の興味・関心を刺激し、活動への意欲や期待を引き出すように工夫されている。カードやビンゴなどの書き込み欄を設け、児童が楽しみながら活動を進めることができるように工夫されている。 ○表現方法として、学習カード、絵日記、スライドショー、ペープサート、図鑑やパンフレットなどの方法が提示されている。表現する活動の始めには「くらべる」「たとえる」などの表現の例が表記されており、参考にできるように工夫されている。 ○友達との伝え合い、クラスでの話し合い場面が繰り返し取り上げられ、児童が気付きを共有し考えを深めていく姿が例示されている。児童がかいたイラストや文章、教師の板書など、学び方や表現の仕方が写真や絵で掲載されている。</p>	
資 料	<p>○QR コードでは、動画、図鑑、料理のしかたや友達の作り方などを見ることができる。 ○本文中や巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、季節の植物のイラストや、学習の仕方や学習を生かした活動、海外の文化について紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○毎時間ごとに学習の振り返りを、気持ちマークを使って表すことができるように工夫されている。 ○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、配色を工夫したり、専門家の検証を受けたりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。</p>	
総 括	<p>○各活動単位で学習カードや作品など、児童の表現物が例示されており、学習評価の参考となるように工夫されている。 ○「せいかつことば」や「きらきらことば」など、人との関わりがより深まることを促す言葉を紹介するページが設けられており、語彙力を向上するように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">しょうがっこう せいかつ</h1>	<div style="text-align: center;">1 1</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">学 図</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「ものしりノート」は、学習体験や知識が広がるよう構成されている。「学び方図かん」では、活動の基礎となる内容がまとめられており、マークを使って児童に考えさせ、身に付けさせたい技能の習得が図れるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学習する対象となる人やものについて、学習の過程・種類が、写真やイラストで例示されている。</p> <p>○振り返りを重視した構成にしており、蓄積した記録を基に思考の流れを整理したり表現方法を考えたりすることができるように工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○単元冒頭では、対話的場面を配置し、子供自身の経験を思い出し活用できるよう工夫されていたり、「もっと」では、活動を通して自信をもった児童が、さらに意欲的に取り組めるような活動などが示されたりしている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○各ページ左上に活動の内容を示し、その下の言葉で児童の思いや願いを表すように工夫されている。また、上下巻を通して登場する4人のキャラクターが、活動を通して、友達と関わり合いながら成長していく姿が表現されている。</p> <p>○表現方法として、発見カードや作文、新聞、クイズや劇、紙芝居、ペープサート、ポスターなどの方法が提示されている。巻末には、カードや作文、新聞、手紙を書く時のポイントや例が載っており、活用できるように工夫されている。</p> <p>○児童が友達と伝え合い、対話的に活動し、学びを深める姿が示されている。下巻では、多様な表現でのまとめが例示されており、これまでの学習を基にして「できるようになった自分」を振り返れるように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○QR コードでは、動画や動植物の図鑑などを見ることができる。</p> <p>○本文中の「ものしりずかん」では、単元に合った動植物や施設などを、「ものしりノート」では、野菜の育て方やおもちゃの作り方などが紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○自ら進んで学べるように、イラストで活動の内容や活動の流れを表現したり、見開き右下に、次の活動を示唆するイラストが配置されたりしている。</p> <p>○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、目に優しく判別のしやすい色使いにしたりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。</p>	
総 括	<p>○単元ごとに主となるキャラクターが設定され、対話の中で自分の考えを伝えたり、修正したりしながら、変容していく様子が表現されるように工夫されている。</p> <p>○見開きページをひとつの活動単位とし、願いをもち、主体的・対話的に活動し、伝え合い、振り返る構成となるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「やくそく」では、絵や写真、キーワードで安全に関する技能の習得が図れるように工夫されている。「学びのポケット」は、生活科と基本的な生活習慣や他教科との連携が意識できるような内容に工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○思考を促す吹き出し入りの児童の写真や挿絵が添えてあり、思考する視点が整理しやすくなるように工夫されている。</p> <p>○表現方法の提示に加え、コラムとしてヒントコーナーがあり、多様な学習活動の中で思考する一助となるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○単元導入「わくわくスイッチ」や、単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付けて、主体的な学びが展開できるように工夫されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○小単元の初めには、児童の期待や疑問を問いかけの形で示し、言葉で活動を喚起できるように工夫されている。上下巻を通して登場する2人の主人公が活動する様子から、期待感をもって取り組めるように工夫されている。</p> <p>○表現方法として、学習カード、ポスター、手紙、絵地図、蛇腹折りの絵本、クイズ、紙しばい、すごろく、ペープサート、歌や踊りなどの方法が提示されている。巻末には記録の方法やポイントが載っており、参考にできるように工夫されている。</p> <p>○観察カードや新聞など、気付きを整理する方法が掲載されている。また、整理したことをグループやクラスで伝え合う活動が例示されている。特設コーナー「何をかんじたかな」では、友達や先生と伝え合う内容や方法が示されている。</p>	
資 料	<p>○QRコードでは、動画、ワークシート、デジタル図鑑などを見ることができる。</p> <p>○上巻に「のはらざかん」がある。本文中の動植物の世話の仕方は、「学びのポケット」とリンクしている。「学びのポケット」では、学習の仕方が紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○「はじめのいっぽ」や単元を結ぶ道で、学びの連続性がわかりやすいように工夫されている。</p> <p>○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、判読しやすい配色やレイアウトにしたりするなど、全ての児童がわかりやすいように配慮がされている。</p>	
総 括	<p>○ページの上に見出しが配置されたり、生活科で学ぶ力がサイコロのマークで示されたりして、活動のねらいがわかりやすいように工夫されている。</p> <p>○各小単元で最も育てたい資質・能力が「サイコロ」で示され、児童と先生が共に学習の「めあて」を把握できるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ たんけんたい</h1>	38 光 村
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「どうしてだろう なんだろう」のコーナーで、着目させたいポイントやルールについてイラストを使って示されている。「きをつけよう」は、赤字で示され、生活上に必要な習慣や技能が身につくように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○活動について気付いたり考えたりする児童の様子が吹き出し付きの写真や作例などで示されている。</p> <p>○見開きページごとに、活動につまずいた時や試行錯誤する時に大切になる考え方などのヒントがあり、児童が考え、表現していく一助となるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○さまざまな価値観で考える児童の姿が、文章と絵で表現されており、協働的に学べるように配慮されている。振り返りでは、対話や多様な表現活動でまとめることによって、よりよい生活を送ろうとする態度を養うことができるように工夫されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○各単元の扉ページいっぱいに、学習材と児童の写真に掲載し、活動への意欲付けが図られるように工夫されている。活動に関するイラストのコーナーに掲載されているつぶやきが、児童の気付きを促すように工夫されている。</p> <p>○表現方法として、絵やポスター、パンフレット、すごろく、ランキング、巻物、絵本、紙芝居やスライドショーなどの方法が提示されている。巻末には、記録の仕方やポイントが載っており、参考にできるように工夫されている。</p> <p>○児童が、思考と表現を繰り返しながら、学びを深めていく学習例が示されている。また、児童がこれまでの活動を対話的な活動を通して振り返り、新聞やカードなどで気持ちをまとめるという段階が示されている。</p>	
資 料	<p>○QR コードでは、動画やアニメーションなどを見ることができる。</p> <p>○上巻末に切り離して使える「きせつのなかまたち」、小冊子で「ひろがるせいかつじてん」があり、学習の仕方や動植物などが紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○「ふりかえろう」をイラストを用いて全ての小単元に位置づけており、活動経験を振り返る手掛かりとして活用できるよう工夫されている。</p> <p>○UDフォントの使用、カラーUDの観点からの配色の工夫、文字や写真を区別するために罫線を入れるなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。</p>	
総 括	<p>○絵本作家のかき下ろしイラストを教科書の随所に掲載し、児童が一緒になって考えられるように工夫されている。</p> <p>○学んだことを次の学習活動に活かすために、学習活動のページの見開きごとに振り返りの場が設けられている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	26 信 教
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○生活の中で注意することや大切なことは、マークや絵を使って示されている。地域の特色や実際の行事の写真・絵を掲載し、短い言葉を使いながら生活上必要な習慣や技能が習得できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○活動の様子が、地域性を活かした場所や行事など、児童にとって身近に感じられる写真で示されている。 ○友達同士の学び合いの姿や情報交換する場を例示することで、児童自身の思いや願いから次の活動を考えたり、表現したりできるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○地域に根差した人・もの・ことと、直接関わったり触れ合ったりすることで、ふるさとへの愛着を深められるように構成が工夫されている。また、体験や活動を写真や挿絵で多様に示し、より深い学びや活動につながるように工夫されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○各単元の扉ページいっぱい単元を象徴する写真や挿絵を掲載し、活動への期待感を高めるように工夫されている。動物や植物との継続的な関わりの中で生じる課題を乗り越えることで、命の大切さに気付けるように工夫されている。 ○表現方法として絵や日記、模造紙や手紙などの方法が提示されている。絵の中の児童が思い思いに活動していることで、様々な方法で表現しようとする意欲を高められるように工夫されている。 ○友達と気づきを伝え合う活動が写真や作文の中で表され、児童のより豊かな学びにつながるように配慮されている。また、観察カードや日記が要所に示され、児童が日頃から記録に残して振り返る意義を感じられるように配慮されている。</p>	
資 料	<p>○QR コードでは、動植物の写真を見ることができる。 ○七夕、お正月など、季節と関わりのある地域の行事が掲載され、上巻の「いつものばしょ」では、同じ場所の四季の様子が観音開きのページで掲載されている。</p>	
表記・表現	<p>○縦書き・右開きで構成されている。また、体験や活動の質が高まるよう、児童の言葉を吹き出しや対話、詩、作文などで表現している。 ○家族や仲間、地域の人々と触れ合うイラストや切り絵、写真で、支え合う大切さが学べるように工夫されている。</p>	
総 括	<p>○地域に生まれ、地域に育つ児童が、四季を通して人やもの、その場所に関わることを重視した内容構成となるように工夫されている。 ○「家庭に始まり家庭に帰る」ことを学びのコンセプトとして位置付け、家庭・地域と共に育てる生活科の実践を目指すように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	6 1 啓林館
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「びっくりずかん」では、季節ごとの行事や植物などを知ることができるように工夫されている。「こんなときどうしよう」や「学びのヒント」などのコーナーでは、基本的な生活習慣や生活技能、健康や安全に関する知識が身に付くように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○気付いたことをもとに考えるための学習活動について、児童が思考を働かせている姿が写真や挿絵で示されている。</p> <p>○見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例が示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えを感じ、次の活動への安定的で持続的な意欲が育まれるように工夫されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○単元の扉ページを写真や問いで構成し、児童の意欲を喚起するように工夫されている。ページの右下にめくり言葉を設定し、活動の中で生まれた気付きや、次の活動への思いや願いを文字にして、意欲を高めるように工夫されている。</p> <p>○表現方法としてカードやクイズ、付箋、絵や紙芝居、巻物などの方法が提示されている。巻末には、記録の方法やポイント、友だちと伝え合うための工夫が解説されており、予想や例えなど書く上でのヒントになるように工夫されている。</p> <p>○グループやクラスで伝え合う、気付きをカードに書くなどの表現活動が、写真やイラストで例示されている。板書や机のレイアウトなど、授業中の教室環境を具体的に示し、児童が学び方を知る手掛かりとなるように配慮されている。</p>	
資 料	<p>○QR コードでは、動画、スライドショー、ウェブリンクなどを見ることができる。</p> <p>○上下巻の「がくしゅうずかん」では、学習の仕方が紹介されている。上巻巻頭に「すたあとぶっく」下巻巻末に「3年生へのステップブック」が設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○紙面右下に「めくり言葉」が掲載されており、次の活動への期待がもてるように工夫がされている。</p> <p>○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、紙面の内容が判読しやすい配色やデザインにしたりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。</p>	
総 括	<p>○単元の流れをわかりやすく示すために、「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階構成になるように工夫されている。</p> <p>○教科書紙面にICT端末や電子黒板などのICT機器を活用した学習活動の例を掲載し、教室外の体験と教室内の学びを一体化できるように工夫されている。</p>	

生活科 調査資料 2

○分量について

内容		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館
1 総ページ数 ※目録に記載されたページ数	上巻	130	140	140	130	128	137	148
	下巻	122	128	132	130	104	127	138
2 資料のページ数	上巻	16	8	12	13	0	27	10
	下巻	18	12	16	21	0	27	27
3 単元数	上巻	9	4	10	9	17	9	9
	下巻	9	6	6	7	13	9	9
4 QRコードの数	上巻	49	53	36	36	1	28	43
	下巻	34	47	26	34	1	18	21

○内容別ページ数について

内容		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館
1 学校と生活	上巻	25	24	25	21	22	24	30
	下巻	1	6	0	0	6	0	7
2 家庭と生活	上巻	11	6	11	12	4	8	10
	下巻	1	0	10	0	4	0	0
3 地域と生活	上巻	4	8	9	0	0	0	0
	下巻	39	30	36	38	14	28	38
4 公共物や公共施設の利用	上巻	8	8	4	0	2	2	4
	下巻	10	8	16	16	22	8	12
5 季節の変化と生活	上巻	30	34	28	32	61	30	34
	下巻	13	18	8	8	24	8	8
6 自然や物を使った遊び	上巻	32	16	34	32	21	30	34
	下巻	14	14	16	20	12	10	14
7 動植物の飼育・栽培	上巻	22	26	34	26	28	22	26
	下巻	26	20	38	34	30	20	30
8 生活や出来事の伝え合い	上巻	11	18	18	32	11	30	24
	下巻	37	28	35	42	14	38	32
9 自分の成長	上巻	11	8	8	9	7	24	9
	下巻	11	26	15	14	13	16	18

○その他

内容		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館
1 公共施設の種類		10	8	5	9	6	12	11
2 栽培植物（春蒔き）の種類		21	14	16	18	2	18	16
3 栽培植物（秋蒔き）の種類		0	4	9	4	1	11	9
4 飼育動物（虫）の種類		9	5	4	6	2	10	6
5 飼育動物（水生動物）の種類		2	1	2	1	1	2	2
6 飼育動物（小動物）の種類		3	6	3	3	4	4	2